

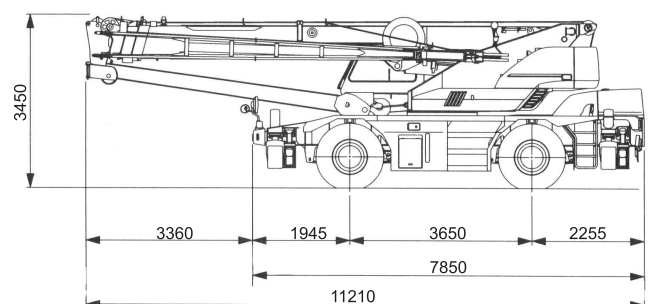
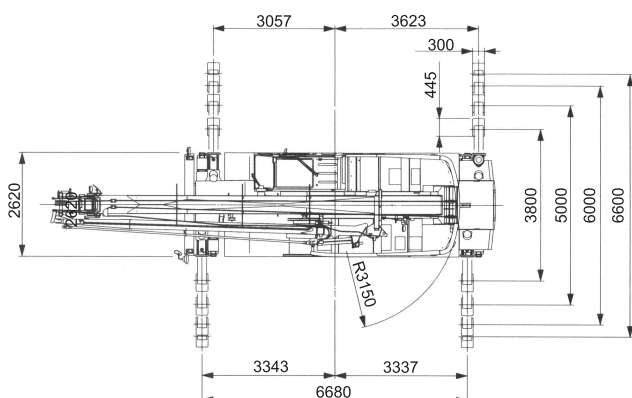
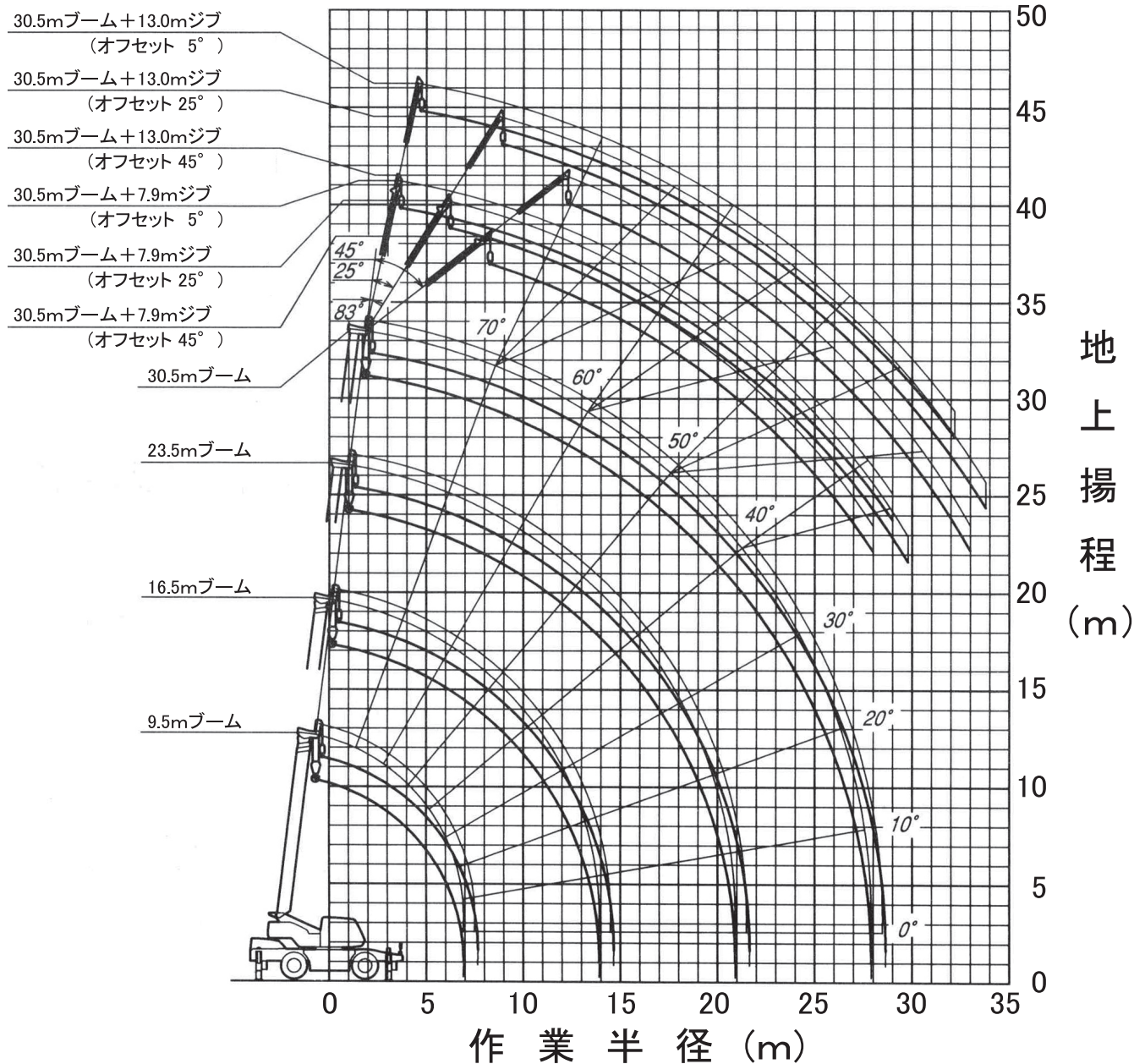
26t ラフタークレーン

(KATO KR-25H-V6)

作業半径揚程図

(注)

1. 本図は、ブーム・ジブのたわみを含んでいません。
2. 本図は、アウトリガ最大張出時(全周)のものです。



■定格総荷重表

【9.5m～30.5m ブーム】

	 (6.6m)			
作業半径 (m)	アウトリガ最大張出 (全周)			
	9.5m ブーム	16.5m ブーム	23.5m ブーム	30.5m ブーム
2.5	26.00	18.00		
3.0	26.00	18.00	12.50	
3.3	26.00	18.00	12.50	
3.5	25.00	18.00	12.50	
4.0	23.00	18.00	12.50	7.00
4.5	21.20	18.00	12.50	7.00
5.0	19.40	16.70	12.50	7.00
5.5	17.80	15.60	11.85	7.00
6.0	16.30	14.60	11.20	7.00
6.5	15.10	13.80	10.60	7.00
7.0		13.00	10.10	7.00
7.5		12.20	9.60	7.00
8.0		11.40	9.10	7.00
9.0		9.20	8.20	6.40
10.0		7.50	7.40	5.90
11.0		6.20	6.60	5.35
12.0		5.20	5.90	4.90
13.0		4.40	5.05	4.50
13.5		4.10	4.70	4.30
14.0			4.40	4.15
15.0			3.85	3.85
15.5			3.60	3.70
16.0			3.35	3.55
17.0			2.95	3.20
18.0			2.60	2.85
19.0			2.25	2.55
20.0			1.95	2.30
20.5			1.85	2.15
21.0				2.05
22.0				1.80
24.0				1.40
26.0				1.15
27.5				0.95
危険角度	—	—	—	—
標準フック	26tフック			
フック質量	230kg			
巻掛本数	7	6	4	4

■定格総荷重表注意事項

●アウトリガ使用

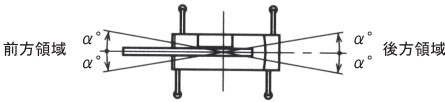
1. 定格総荷重表は、水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。
□部分は機械の強度によって定められ、他は機体の安定度によって定められています。
2. 作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. ジブの作業半径は30.5mブームにジブを装着して作業を行った値を示し、その他のブーム長さでのジブ作業はブーム角度だけを基準として行ってください。
4. アウトリガ張出状態によって側方領域でのつり上性能は異なります。従って各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行ってください。前方、後方領域でのつり上性能はアウトリガ最大張出の定格総荷重表で作業を行ってください。

【30.5mブーム+7.9mパワージブ】

 (6.6m)						
アウトリガ最大張出（全周）						
ブーム角度 （°）	5° オフセット		25° オフセット		45° オフセット	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
83.0	4.7	3.00	7.4	2.10	9.4	1.60
75.0	10.5	3.00	12.7	2.10	14.2	1.60
73.0	11.8	3.00	14.0	2.10	15.4	1.60
72.0	12.6	3.00	14.6	2.10	16.0	1.60
70.0	13.8	2.78	15.9	2.10	17.0	1.57
65.0	16.9	2.31	18.8	1.82	20.0	1.50
60.0	19.8	1.96	21.5	1.60	22.3	1.37
57.5	21.0	1.83	22.8	1.49	23.5	1.31
55.0	22.4	1.58	24.0	1.40	24.7	1.25
50.0	24.7	1.12	26.2	1.02	26.5	1.03
46.0	26.5	0.82	27.8	0.75	28.0	0.77
45.0	27.0	0.74	28.1	0.70		
40.0	29.0	0.46	29.8	0.45		
危険角度	38°		38°		44°	
標準フック	4tフック					
フック質量	60kg					
巻掛本数	1本					

【30.5mブーム+13.0mパワージブ】

 (6.6m)						
アウトリガ最大張出 (全周)						
ブーム角度 (°)	5° オフセット		25° オフセット		45° オフセット	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
83.0	6.3	2.00	10.6	1.25	13.6	0.85
77.0	11.1	2.00	15.0	1.25	17.6	0.85
76.0	12.0	2.00	15.8	1.21	18.3	0.85
74.5	13.1	1.91	16.7	1.17	19.0	0.85
70.0	16.5	1.65	19.7	1.06	21.8	0.82
65.0	20.0	1.41	23.0	0.97	24.6	0.79
60.0	23.2	1.21	25.9	0.91	27.2	0.77
55.0	26.1	1.07	28.7	0.85	29.6	0.75
53.5	27.0	1.04	29.4	0.84	30.2	0.74
51.5	28.1	0.95	30.4	0.82	31.0	0.74
46.0	30.8	0.60	32.7	0.56	33.0	0.59
43.0	32.2	0.45	33.8	0.43		
危険角度	41°		41°		44°	
標準フック	4tフック					
フック質量	60kg					
巻掛本数	1本					



アウトリガ張出状態	中間張出 (6.0m)	中間張出 (5.0m)	中間張出 (3.8m)
領域 α°	35	30	20

5. ルースタシブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているつり具等の質量を差し引いた値とし、かつ限度を4000kgとします。
[ルースタシブ使用フック：4トンフック（質量60kg）巻掛本数1]
6. ブームの長さが規定の長さをこえる場合には、規定の長さか、一段上のブーム長さかいずれか、小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。
7. ジブを装着したままブーム作業を行う場合の定格総荷重は、ブームの定格総荷重より、つり具等の質量の他に1200kgを差し引いた値とします。
なおジブを装着したままでのルースタ作業は行わないでください。
8. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
9. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤーロープ1本当たり37.2kNを限度としてください。
10. ジブ使用時、ジブオフセット角度が規定の角度をこえる場合には規定の角度より一段大きいジブオフセット角度の定格総荷重で作業を行ってください。
11. 自由降下作業は原則としてフックのみを降下するときに使用しますが、やむをえずつり荷を自由降下する場合には定格総荷重の20%までを限度とし急激なブレーキ操作は絶対にさけてください。
12. クレーン作業は風速10m/secまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
13. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行ななかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。